



No. 1 6

有脇小学校校長だより

平成31・2・26



学校応援団感謝の会

「学校応援団感謝の会」が2月21日に開かれました。42名の応援団の方々に出席いただきました。子どもたちはこの日のために感謝の手紙を書きました。その手紙とお花をプレゼントしました。学校応援団は大きく3つのグループに分かれます。安全応援団・環境応援団・学習応援団です。その中から「スクールガード」「せん定」「稲作」「わくわくチャレンジ」「読み聞かせ」「踊り」の方々にご参加いただきました。この他にも「地域学習」「昔の遊び」「飼育関係」「かいどり」などの支援グループがあります。中にはいくつもの団に所属してくださっている方もいらっしゃいます。ここに有脇小学校PTAの活動と、「公民館」や「子ども110番の家」の支援が加わって学校応援団が結成されています。有脇小学校では、4月から半田市の小中学校で始まるコミュニティスクール制度（以前校長だよりNo.12でふれました）の取り組みがすでになされているんです。有脇小



学校ではさらに、これらの学校応援団の代表者会（コーディネーターを含む）をもち、学校運営協議会（現：学校運営支援協議会）につなげています。

先日4年生の道徳の授業で「ありがとうの言葉」という題材を使って、感謝することについて考

えました。その中で主人公の「ひろしくん」のおばあちゃんが手紙を書いている場面があります。その手紙では漢字で「有り難う」と書かれていました。おばあちゃんはその言葉「有り難し」の意味を「あることが難しい」「この世にめったにないほどすばらしいもの」と説明し、「そういうことにめぐりあえたことへの感謝を表す言葉なんだよ。だから『ありがとう』という言葉はみんなをとててもいい気持ちにさせるのかもしれないね」と

説明しました。有脇小学校は、保護者や地域のみなさんの「ありがたい」力で守られていることを実感しました。これからも子どもたちをよろしくお願いします。

※感謝の会の前に「学校応援団代表者連絡会」を行いました。どのグループもメンバーの確保に苦慮していました。ぜひ積極的なご参加をお願いします。お問い合わせは、有脇小学校教頭までお願いします。たとえば「読み聞かせ」では、自分のお子さんが卒業した後も引き続けて活動してくださっている方がいらっしゃいます。地域の学校、子どもたちとして支援や見守りをさせていただきますと大変嬉しいです。

今年はやが一回もつらんかな。



2月22日に6年生が「薬物乱用防止教室」の出前授業を受けました。愛知県警本部からと半田警察署から合計2名の警察官と、広報車が来てくださいました。

1時間目は教室でグループでの活動、2時間目は広報車を使っての活動でした。薬物使用の実態や恐ろしさ、断る勇氣などを学びました。薬物は遠い世界の話ではありません。実際に違法ドラッグや覚醒剤、大麻などの使用が、どんどん低年齢化しています。またSNSが発達し、

簡単に手に入る実態もあります。警察も警戒を強め、小学校で薬物乱用防止教室を実施してくださっています。まわりの大人がしっかり子どもたちを守っていきたいと思います。

有脇小学校では、外部の専門家に学校に来ていただき、授業を行っていただいています。3学期だけでも、「薬物乱用防止教室」以外にも「命の授業…半田病院医師、看護師」「ブックトーク…半田市図書館」など行いました。教員ではどうしても限界があります。専門家の方のお力を借りて、子どもたちを育てていきたいと思います。ちなみに学校応援団のみなさんも、もちろん「専門家」なんです。

初めての本格的雨

アゼリアロードが改修されてから初めて本格的な雨が降りました。以前と全然違います。水たまりやぬかるみをよけて歩かなくてすみません。雨が降った時に一度歩きに来てみてください。



名古屋弁講座第13弾 今回もわたしがよく使う名古屋弁を紹介します。

○「かう」→「施錠する」 使用例：「心配だで かぎかつといてよ」